

スポーツで地域を元気にするラボ

連携先：株式会社読宣岡山



00背景

3密を避けられない“スポーツ”のあり方がコロナ禍で問われている。このスポーツにとっての非常事態において、スポーツが地域に対して何が出来るかを、20名の経営学科3年次生が教員2名と、1年間取り組む。

01課題

コロナ禍におけるスポーツの新たな可能性を発見し、それを地域活性化にどのように繋げることができるか、「スポーツ×α＝地域活性化」を共通のベースとして、具体化し提案する。

02内容

- 2-1 **課題を理解する** → 連携先から派遣された講師よりスポーツ概論、「スポーツ×α」の実例について講義を受講。
- 2-2 **事例研究** → 他大学でご自身のゼミでスポーツでの地域活性化施策立案に取り組まれている先生をお招きし実際に立案された施策内容や、eスポーツ、プロスポーツの構造についてレクチャーを受講。
- 2-3 **企画する** → 分析や視察等に基づき企画の具体化。
 - ▶ チームごとに具体化を進める。
 - ▶ ①方法論の専門家から、ファシリテーション指導を受けイメージを膨らませる。
 - ▶ ②経営統計学教員からアイデアに説得力を持たせるための科学的な手法を学ぶ。
 - ▶ 参考となる施設・団体を訪問し、ヒアリング調査を行う。
- 2-5 **仕上げと企画提案** → チームごとに教員のアドバイスやサポートを受けながら活性化案を立案した。

方法論専門家による
ファシリテーション指導



活性化案を立案した。



参考団体の訪問



03結果 連携先への活性化案の提案

コロナ禍が追い風となり、今後の更なる市場拡大が見込めるeスポーツを取り入れた地域活性化案や、身近なウォーキング、飼い犬と共に気軽に始められるドッグスポーツでの活性化案が発表された。また、活性化案を活かした様々な体験、観戦型イベントを企画し、連携先・関係先へ報告会を行った。



連携先・関係者の方々へ向け実施した報告会